

令和4年度 みどり第4・5・6学年 学級経営案

学 校 教 育 目 標						
ふるさとを愛し、一人一人が輝く徳・知・体の調和のとれた児童の育成 【かしこく】進んで学び、よく考える児童 【なかよく】思いやりをもち、助け合う児童 【元気よく】礼儀正しく、ねばり強い児童						
学 級 目 標						
Change 新しい一歩 ～自分のために みんなのために がんばるクラス～ ○自分の思いや考えを伝えることができる子ども ○友達や周りの人のために進んで動くことができる子ども ○自分の成長を実感することができる子ども						
具 体 的 な 取 組				評 価		
				I	II	III
かしこく	1 毎時の学習の流れをパターン化することで、見通しをもって取り組むことができるようにする。					
	2 ICTを活用して、漢字の読み書きの定着を図る。					
	3 基礎基本問題を中心として学習を進め、繰り返し学習をすることで基礎学力の定着を図る。					
	4 教室に10冊本を置き、1週間ごとに図書の入れ替えを行うことで、読書に親しむことができるようにする。					
	5 国語（プリントまたはスキル）・算数（プリントまたはスキル）・音読・日記を毎日の家庭学習とし、習慣化を図る。					
	6 ノート等に記述した考えに丸を付けることで、自信をもって発表することができるようにする。					
なかよく	1 自立活動の時間に「人間関係の形成」「コミュニケーション」の項目の題材を取り入れ、他者とのかわり方を学習する機会を設ける。					
	2 毎日一人一役の係活動を設定することで、協力して学級をつくりあげることができるようにする。					
	3 交流学級での学習を計画的に実施し、いろいろな友達と一緒に学習する機会を設ける。					
	4 帰りの会で、自分のめあてを振り返り、発表する場を設けることで、自他の成長や頑張りを認め合うことができるようにする。					
元気よく	1 連絡帳に、検温や就寝・起床時刻、朝食摂取の有無の欄を設け、確認を行うことで、健康状態を把握することができるようにする。					
	2 昼休みに、運動場や体育館での全員遊びへの参加を促す。					
	3 安全に過ごすことができるよう、学校生活のきまりやルールを徹底する。					
郷土愛	1 自分が住む郷土のよさを実際に体感することができるよう、現地見学や体験学習を実施する。					
	2 家庭科や総合的な学習の時間で、地域の方と交流できるよう、地域学校協同活動を活用する。					
	3 社会科等の教科において、湯前町の特色や自治、歴史に関する事項を取り入れながら学習を進める。					
学期評価（達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成）						

